

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン ソ ー ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長 舟 橋 孝 之
(コード番号：6200 東証プライム)

「インソースグループ統合報告書 2025」発行のお知らせ

～AI時代の成長戦略を様々な観点で解説

「働くを楽しくする」サービスを提供する株式会社インソース（駿河台本社：東京都千代田区、代表取締役執行役員社長：舟橋孝之、証券コード：6200、以下「当社」）は、「インソースグループ統合報告書 2025（全 93 ページ）」（以下「本冊子」）を発行しましたのでお知らせします。なお英語版は7月下旬頃に発行予定です。

5回目の統合報告書発表となる今回は、改めて当社の主力事業の研修サービスについて掘り下げ、“インソースの研修とはなにか”、競争優位性を明らかにしながら、昨今急激に進化する生成 AI を味方に成長する当社の取り組みや戦略について、十分に理解いただける内容になっています。

加えて、サステナビリティや健康経営における具体的な取り組みや現在の外部評価、今後の施策についても、広くご紹介しています。最後のデータセクションでは 2021 年 9 月期以降の財務情報と毎月開示している非財務情報（KPI）について5カ年分の実績を掲載しています。

本冊子を通じて、ステークホルダーの皆さまとの対話の強化を目指します。そして、企業理念である「あらゆる人が『働く楽しさ・喜び』を実感できる社会をつくる」の実現に向けて、スピード感をもって企業活動に邁進するとともに、積極的な IR 活動を行い、長期的な企業価値の向上に努めてまいります。



<インソースグループ統合報告書 2025 の主な内容>

1. はじめに

「当社が目指す経営」や当社が提供しているサービスの全体像をご紹介します。グループ会社や拠点数をはじめ、当社に関連する財務、非財務数値をご確認いただけます。

2. CEO メッセージ

当社代表の舟橋が、生成 AI 時代の成長戦略と 1 億人への AI 活用普及に向けた具体的施策と事業拡大の取り組みを語っています。また、継続的な企業価値向上に資するサステナビリティに関する施策状況や人材戦略の考えも掲載しています。

3. これからのインソース-事業の成長とコーポレートブランドの向上

「ROAD TO NEXT 2028」に向けて、注力している生成 AI 戦略・社内活用については、新規ページを設けて、たっぷりをご紹介します。また、2025 年 10 月より中計の成長戦略の 1 つとして導入した、16 のサービスドメイン制について、当社の強みと今後の成長戦略を記載しています。

生成 AI 時代の成長戦略

教育・SI・コンサルティング 全ての領域をカバーする AI 先進企業へ

AI が DX プロセスを革新させる

- 1. AI の活用範囲が広がる
- 2. AI の活用が業務効率を向上させる
- 3. AI の活用が新たなビジネスモデルを生み出す

領域	従来の課題	AI による解決
教育	学習の個別化が難しい	AI による個別学習の提供
SI	業務効率化が難しい	AI による業務自動化
コンサルティング	データ分析が難しい	AI によるデータ分析

サービスドメイン別戦略

人事部門支援

採用率 19.2%

サービスドメイン	売上 (億円)	利益 (億円)	営業利益 (億円)
教育	1,200	250	150
SI	1,500	300	200
コンサルティング	1,000	200	120
その他	800	150	100

4. 持続的な成長に向けて

当社は 4 年連続で「健康経営優良法人」に認定されています。25 年度は、対象項目にだけにとらわれず、従業員一人ひとりに向き合い、個人の特定の悩みにも寄り添った支援に注力しています。また、25 年 9 月期より、「人権デューデリジェンス」を実施し、カバナンス面を強化しました。社外取締役による対談では、「次の成長を支える経営とガバナンス」というテーマで語っています。

サステナビリティと成長方針

ESG 対策の高度化に向けた健康経営を推進

健康経営を推進

川越 久美子

- 1. ESG 対策の高度化
- 2. 健康経営の推進
- 3. 人材育成の強化

G 価値創造を支えるガバナンス

社外取締役が語る、次の成長を支える経営とガバナンス

1. 当社グループの競争優位性と次の成長フェーズへの課題

2. 取締役会の実効性向上と対話の深化

5. 価値創造

当社の価値創造プロセスおよび、経営基盤となっているコンテンツ開発力、カルチャー、システム開発力、営業力を詳しく解説しています。加えて、当社の事業を支えるデータ基盤についても、新たに掲載しています。

6. データセクション

役員一覧や連結財務データに加えて、事業別業績の推移や非財務情報を含めた KPI、ESG データなどの数値を掲載しています。当社を様々な観点でご覧いただけます。

当社は今後も、積極的な情報開示に努めてまいります。

以 上

【お問合せ先】株式会社インソース <https://www.insource.co.jp/index.html>
(取材・広報・統合報告書の内容に関して) 社長室(井上・小畑) TEL:03-5577-2283